

予 算 要 求 資 料

令和4年度6月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名【新】飼料価格高騰対策緊急支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 酪農・飼料係 電話番号：058-272-1111(内2875)

E-mail：c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 768,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	768,000	0	0	0	0	0	0	0	768,000
決定額	305,000	305,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

令和3年1月以降、とうもろこしを主とする輸入飼料の価格上昇に伴い、輸入が9割を占める配合飼料価格が高騰、現在も価格の上昇が続いており、畜産農家の経営に深刻な影響を及ぼしている。

配合飼料価格の高騰に対し、国はセーフティーネット基金(配合飼料価格安定制度)の運用をしており、令和3年度第1四半期以降、基金補てんを発動、影響を緩和しているが、制度上の仕組みから影響を全て緩和できず、生産者の負担が増加し続けている。

このような中、再生産可能な畜産経営を維持するため、配合飼料価格高騰による生産者の負担を軽減する緊急的な支援が求められている。

(2) 事業内容

配合飼料の使用を削減する取組メニューに取り組む畜産農家に対し、配合飼料価格安定制度の契約数量に応じ、奨励金を交付する。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率：定額

ただし、配合飼料価格安定制度に係る契約数量に対し、5,300円/tを上限とする。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	768,000	事業対象期間：令和4年度 第1四半期～第2四半期の半年間 本県の半年分の配合飼料消費量 145,000t 奨励金単価 5,300円/t $145,000t \times 5,300円/t = 768,500千円 \approx 768,000千円$
合計	768,000	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。
財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ
なし

(1) 国・他県の状況

国：配合飼料価格安定基金の異常補填基金の積増しを実施。
他県：配合飼料の価格高騰支援を愛知県、静岡県、東京都の1都2県で実施。

(2) 後年度の財政負担

緊急対策のため単年度とし、後年度の財政負担はない。

(3) 事業主体及びその妥当性

事業実施主体：畜産生産者団体（岐阜県酪農農業協同組合連合会、岐阜県肉用牛協会、岐阜県養豚協会、岐阜県養鶏協会）
妥当性：生産者の要望を迅速にとりまとめ、速やかに事業実施するに当たり、生産者が組織する団体が適しており、事業実施主体として妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	飼料価格高騰対策緊急支援事業費補助金
補助事業者（団体）	畜産生産者団体（岐阜県酪農農業協同組合連合会、岐阜県肉用牛協会、岐阜県養豚協会、岐阜県養鶏協会） (理由) 生産者の要望を迅速にとりまとめ、速やかに事業実施するに当たり、生産者が組織する団体が適している。
補助事業の概要	(目的) 再生産可能な畜産経営を維持するため緊急避難的に支援する。 (内容) 配合飼料の使用を削減する取組を行った畜産農家に対し、配合飼料価格安定制度の契約数量に応じ、奨励金を交付する。
補助率・補助単価等	定額 ・定率・その他（例：人件費相当額） (内容) 定額 ただし、配合飼料価格安定制度の契約数量に応じ、5,300円/tを上限とする。 (理由) 配合飼料価格は、飼料高騰前の令和2年度と比べ、令和4年3月時点で、生産者の負担が約10,600円増加しているため、その1/2相当を支援する。
補助効果	配合飼料の使用を削減する取組を支援することで、配合飼料高騰の影響を緩和することができる。
終期の設定	終期 令和4年度 (理由) 緊急対策のため

(事業目標)

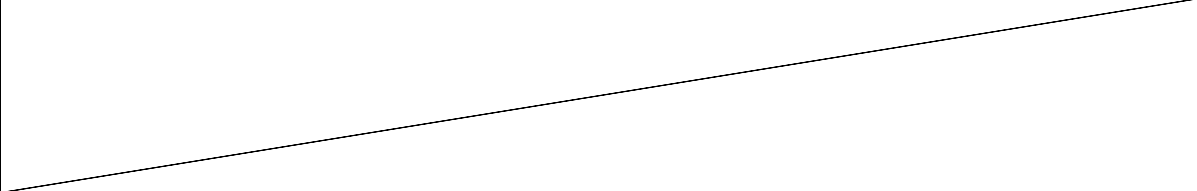
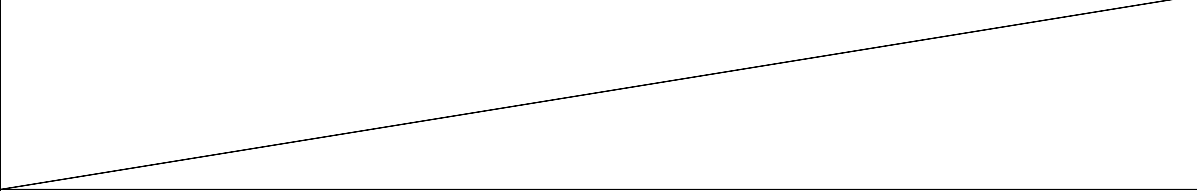
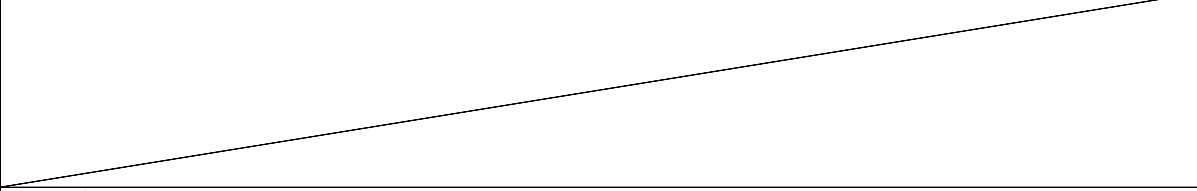
- ・終期までに何をどのような状態にしたいのか
配合飼料価格高騰の影響を緩和し、再生産可能な畜産経営を維持する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

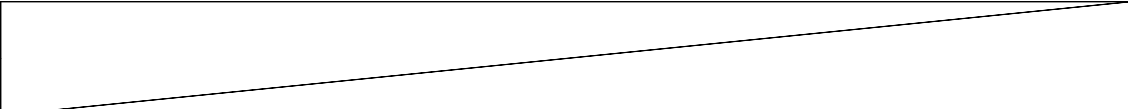
指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	令和3年1月以降、配合飼料価格が高騰しており、当面下がる見込みもなく農家経営を圧迫している現状から、緊急支援の必要性は高い。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 2	配合飼料の使用を削減する取組を行うことで、飼料高騰影響の緩和が期待できる。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 緊急対策であるため、迅速な事業遂行が求められる。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 緊急対策であるため、継続する予定はない。</p>
